

令和6年度 一関市社会福祉協議会 事業報告

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザへの感染が治まらず、また、物価高騰などの社会経済情勢が家計や日常生活に大きな影響を及ぼしており、経済的に困窮している方や社会的孤立による悩みを抱える方などが増えている傾向にある。

このことは、社協が進める福祉事業にも大きな影響を及ぼし、介護事業では感染対策を行う中でのサービス提供、地域福祉事業では住民、民生委員・児童委員、社会福祉法人等と一層の連携・協働による地域生活課題の解決、相談事業では困窮や社会的孤立による生活相談への対応などに対応してきた。

このような中、事業の推進については、基本理念『支え合い 幸せ感じる 地域の暮らし』に基づき、福祉はみんなで支え合うという一人ひとりの「思いやり」と「助け合い」の結の心を育むことと同時に、コミュニティの構築と共生のまちづくりを進めるため生活に役立つ福祉サービスの提供、住民が安心して暮らすことができる福祉事業の推進に努めた。

1. 重点事業の実施状況

(1) 第2次一関市地域福祉活動計画の実践

令和6年度は、第2次一関市地域福祉活動計画推進目標の取組を継続するとともに、中間評価を実施した。地域福祉コーディネーターによる地域づくり支援については、一関と千厩の2カ所に専属の地域福祉コーディネーターを配置し、市全域に共通する生活課題の解決を図るための取組を重点的に進めた。

また、市内社会福祉法人との懇談会を主催し、多機関連携の研修や高校との連携による取組などについて懇談を行ったほか、法人が行う子ども食堂等の取組に協力した。

食料支援事業については、個人、企業、団体からの食料寄附を活用し、生活にお困りの方やひとり親家庭、子ども食堂への配布に取り組むとともに、新たに、学生応援便事業を開始し生活福祉資金(教育支援資金)を借り受け、市外で一人暮らしをしている学生へ食料を配送した。

このほか、地域住民、団体等と連携した取組で寄せられた情報を、関係者、関係団体等と共有し解決に向けた継続支援を行った。

(2) 相談支援の充実

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に生活費の貸し付けを行う「コロナ特例貸付」の償還が開始されたが、未だ生活が苦しい世帯などに対して、生活福祉資金貸付事業と生活困窮者自立相談支援事業が連携して、生活状況把握のための電話や訪問によるフォローアップ支援に取り組んだ。

また、深刻な困窮状態にある方に寄り添い、社協の独自事業として食料支援や宿泊先の提供など緊急一時支援事業を実施した。

権利擁護支援については、日常生活自立支援事業と成年後見事業とが一体的に相談が行えるよう、一関市及び平泉町から「一関地方成年後見支援センター」業務の一部を受託し、成年後見制度利用促進に関わる業務を行った。

(3) 介護保険事業、障がい者支援事業の推進

介護保険事業については、より効果的かつ具体的な経営改善策を検討し財政の健全化を図ることを目的に「経営改善(介護事業)プロジェクトチーム」を設置して検討を進め、令和7年3月に最終報告書をまとめた。

障がい者支援事業については、就労継続支援事業所千厩ワークプラザにおいて利用者の就労の場や生産活動の機会を提供し、自立した日常生活と社会生活を営めるよう支援した。

その他、虐待防止等委員会部門委員会の開催や感染症対策の強化を目的とした感染症対策委員会部門委員会の開催、さらには各事業所において自然災害及び感染症に対応した業務継続計画(BCP)に基づく訓練を実施した。

(4) 一関市社会福祉協議会中期経営計画の推進

① 安定した法人経営と地域から信頼される組織づくり

中期経営計画の進捗を管理するため、法人運営懇談会や評議員会において、計画の進捗等を報告し、意見をいただき、事業課題の解決に向けた取組を協議した。

組織の見直しについては、役員、評議員の選出区分及び定数の検討を行い、次回の任期から見直すこととした。

また、中期経営計画にかかる財源の確保などの経営課題については、財政状況を確認し、今後の経営について法人運営懇談会等で協議を行った。

職員の意識改革と人材育成については、研修体系に基づく職員研修を実施するとともに、職員が個々の能力と求められている役割を最大限に発揮できるよう、県社協や県社会福祉事業団が行う階層別職員研修に職員を派遣し、職員の資質と対応能力の向上を進めた。

② 地域住民が安心して暮らせる支え合いの仕組みづくり

生活支援コーディネーター等が連携協働できる体制の構築については、生活支援コーディネーター、市民活動センター相談員と地域福祉コーディネーターとの情報交換会を開催し、地域課題の共有と今後の取り組みについて話し合いを行った。

また、地域福祉コーディネーターの定例会を実施し、事例検討や情報の共有を行い、地域づくり支援を進めた。

重層的支援体制整備事業に向けた連携強化については、その構築に向けて一関市と事業の考え方や体制のイメージについて情報共有、取り組みについて検討を行った。

また、社協内での重層的支援体制整備を進めるため、研修会を開催した。

③ 地域住民が安心して暮らせる相談支援と権利擁護体制の構築

成年後見制度の体制整備については、一関市が市役所内に設置していた「一関市成年後見支援センター」を、令和6年10月に平泉町も対象とした「一関地方成年後見支援センター(中核機関)」へ移行させた。

④ 住み慣れた地域で安心して暮らせる介護・障がい者支援サービスの実施

介護事業所(ヘルパーセンター、訪問入浴センター等)の拠点化・集約化及び一体的管理体制の構築については、「経営改善(介護事業)プロジェクトチーム」の検討と併せて、その方向性の検討を行った。

施設整備については、デイサービスセンター大東の大規模改修工事(工期:令和6年9月~令和7年1月)を実施した。

介護人材の確保については、介護職員初任者研修を開講し、介護人材の確保に努めた。

利用者ニーズに対応できる人材育成については、各事業所が作成する研修計画に基づき職員のスキルアップに努めるとともに、キャリアアップに向けた外部研修会への職員派遣を行った。

2. 各課、各支部の事業報告

総務課

・中期経営計画の進捗の管理、組織の見直し、財源の確保などの経営課題に対応した。

事業名	内 容
理事会	法人運営のため、理事会を4回開催した。 第1回 令和6年 6月 7日 令和5年度事業報告、収支決算 他4件 第2回 令和6年 9月 27日 規程の一部改正、補正予算 他4件 第3回 令和6年 12月 5日 定款の一部変更、補正予算 他2件 第4回 令和7年 3月 10日 令和7年度事業計画、収支予算 他14件
法人運営懇談会	中期経営計画及び地域福祉活動計画の進捗状況について懇談会を開催した。 第1回 令和6年 10月 24日 中期経営計画の推進状況、地域福祉活動計画の中間評価について
評議員会	適正な法人運営を図るため、評議員会を4回開催した。 第1回 令和6年 6月 21日 令和5年度事業報告、収支決算、補正予算 第2回 令和6年 10月 11日 補正予算 第3回 令和6年 12月 19日 定款の一部変更、補正予算 第4回 令和7年 3月 24日 令和7年度事業計画、収支予算、補正予算
出納調査 決算監査	監事による出納調査、決算監査（事業報告、計算書類等）を実施した。 ・出納調査 令和6年5月14日、8月27日、11月26日、 令和7年2月27日 ・決算監査 令和6年5月14日
法人指導監査	市による社会福祉法人指導監査を受検した。 令和6年12月17日
三役会議	法人運営を図るため、理事会案件等について、会長、副会長及び常務理事等による会議を7回、実施した。
支部運営委員会	支部の円滑な事業運営を図り、地域住民の意向を把握し地域福祉を推進するため、運営委員会を開催した。 ・一関支部 6年 6月 26日 令和5年度事業報告及び決算について 他2件 6年 12月 4日 令和6年度上半期事業報告について 他2件 7年 3月 6日 令和7年度事業計画について 他1件 ・花泉支部 6年 7月 30日 令和6年度花泉地域敬老事業について 他8件 12月 12日 理事・評議員の定数について他4件 7年 3月 25日 令和7年度事業計画及び予算について 他5件 ・大東支部 6年 6月 21日 支部運営委員長及び副委員長の互選について 令和5年度事業・決算報告、デイサービスセンター大東大規模改修 他6件 9月 12日 社協ふくし祭り「ゆいっこ広場」事業、ひとり暮らし高齢者の集い「秋桜のつどい」事業について 他7件 12月 13日 デイサービスセンター大東大規模改修について 他6件 7年 3月 14日 令和7年度大東支部事業計画・予算、デイサービスセンター大東大規模改修について 他5件 ・千厩支部 6年 7月 11日 令和6年度事業計画について 他1件 12月 6日 令和7年度千厩支部事業について 他1件 7年 3月 18日 理事及び評議員等の選任区分・定数の見直しについて 他1件

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東山支部 <ul style="list-style-type: none"> 6年6月27日 令和5年度事業報告及び収支決算について 他2件 12月6日 委員長及び副委員長の互選について 令和6年度地域福祉事業の進捗状況について 令和6年度介護保険収入状況について 他2件 7年3月21日 令和6年度介護保険事業について 令和7年度一関市社会福祉協議会事業計画及び収支予算について ・ 室根支部 <ul style="list-style-type: none"> 6年7月2日 令和5年度室根支部事業報告について 他2件 12月11日 令和6年度室根支部事業の実施状況について 他3件 7年1月9日 デイサービスセンター室根の今後について 3月14日 令和7年度室根支部事業計画について 他2件 ・ 川崎支部 <ul style="list-style-type: none"> 6年5月29日 令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画について 他2件 12月12日 令和6年度川崎地域敬老事業の反省について ・ 藤沢支部 <ul style="list-style-type: none"> 6年6月27日 令和5年度事業報告及び決算について 他5件 12月12日 介護保険事業について 他3件
職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県社協が行う階層別研修に参加した。 <ul style="list-style-type: none"> 市町村社会福祉協議会新任研修（第1～3回） 延べ16名 〃 中堅職員研修 1名 ・ 県社協が行う（苦情対応、経営強化など）研修に参加した。 15名 ・ 介護職員キャリアパス研修計画に基づき、研修に参加した。 <ul style="list-style-type: none"> 福祉職員キャリアパス対応生涯研修 初任者編 2名 中堅職員編 3名 〃 チームリーダー編 1名 〃 管理職編 3名 ・ 一関市社会福祉協議会研修体系による職階等の職員研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 第1回職員研修「新任職員研修」（講義）会長講話、社協の概要 18名 第2回職員研修「虐待防止等研修」（講義・演習） <ul style="list-style-type: none"> 虐待防止・身体拘束適正化のための対策 24名 第3回職員研修「管理職員研修」（講義）事業所管理者の役割 20名 第4回職員研修「介護職員研修」（講義・実技） <ul style="list-style-type: none"> 利用者向けの機能訓練のポイント 9名
第19回一関市社会福祉大会	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながら式典・講演、表彰状及び感謝状を贈呈した。</p> <p>開催日：令和6年11月29日 場所：一関文化センター</p>
一関市総合福祉センターの管理運営	<p>市民の福祉増進と福祉意識の啓発を図り、地域福祉活動を総合的に推進するための活動拠点として運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開設日数 355日 ・ 利用件数 269件 ・ 利用人員 4,652人 ※前年度 ・ 利用件数 362件 ・ 利用人員 5,050人

・福祉課題や生活課題解決のため、地域住民と関係機関・団体等と連携した支援を行った。

事業名	内容
地域福祉活動推進事業	<p>新たに地域福祉コーディネーターを地域福祉課（本部・千厩支部）の2拠点に配置し、支部の地域福祉コーディネーターと連携して市全域で共通する地域生活課題に対して解決へ向けた支援を行った。令和6年度は、①ふれあいサロン、②買い物支援、③支え合いマップを柱に支援を行った。</p> <p>地域福祉コーディネーター養成研修や地域福祉コーディネーターリーダー研修へ職員を派遣して、スキルアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動延べ件数 1,537 件（地域からの相談 103、支え合いマップ 4、買い物支援 13、サロン・居場所づくり 346、ボランティア・福祉教育等 144、まちづくり分野との連携 220、個別支援 293、研修 33、その他 381） 地域福祉コーディネーター養成研修 4名参加。 地域福祉コーディネーターリーダー研修 1名参加。
小地域福祉推進事業	<p>地域の福祉課題を解決し、安心して豊かな生活を営むことができるようにするために、福祉活動推進協議会等に活動助成金を交付し、地域の自主的な福祉活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一関11地区 3,030,600円・花泉7地区 1,260,000円・大東6地区 1,273,000円 千厩4地区 917,000円・東山28地区 575,000円・室根20地区 532,000円 川崎1地区 372,000円・藤沢1地区 770,000円 合計 78地区 8,729,600円
社会福祉法人の連携強化	<p>社会福祉法人と事業連携を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らし高齢者のお出かけ支援（お出かけ応援事業の開催） 子どもの居場所づくり（食事会の開催） <p>市内社会福祉法人との懇談会の実施 1月30日 講義「社会福祉法人連携による公益的な取り組み」 県立大 佐藤哲郎教授 意見交換「社会福祉法人と高校生とのつながり方」</p>
シニア活動プラザの運営	<p>シニア世代の社会参加及び社会貢献活動の促進を図るため、相談支援や講座、セミナー等を開催したほか、シニアプラザレターの発行やホームページ等で情報を発信した。また、市民センターや介護予防センター、サロン、一関市シルバー人材センターからの依頼を受けて開催講座等に健康長寿サポーターを派遣し、社会貢献活動につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 運営協力委員会 2回開催 相談事業 53件 ※前年度 120件 講演会・セミナー・講座等の開催 延べ参加者 106人 活動展示（活動展示・情報交換会）の開催、来場者数約 100人 参加団体 7団体（うち 1団体は 4団体合同） シニアプラザレターの発行 年 4回（5月、8月、11月、2月・各 500部） ホームページ閲覧件数 2,200件 ※前年度 2,019件 健康長寿サポーター活動 ①派遣件数 7件、派遣延べ人数 10人 ②スキルアップ研修等 延べ参加者 23人 交流室利用 693件、6,232人 ※前年度 739件、6,659人
社協だよりの発行	<p>地域福祉活動を啓発・促進させるため全戸に社協だよりを年 4回発行した。 第 72号（6月）、第 73号（8月）、第 74号（10月）、第 75号（1月）</p>
ホームページ等による啓発	<p>社協事業や地域福祉活動に関する情報を入手できるように、ホームページの内容の充実を図り、地域福祉活動に関する情報を発信した。</p> <p>閲覧件数 21,644件 ※前年度 閲覧件数 18,961件</p>

ふれあいサロン事業	高齢者等の生きがい作りや、寝たきり、閉じこもり予防を目的に、定期的開催するサロンに対し、活動助成金を交付した。また、ふれあいサロン相互の情報交換や活動内容の充実を図るための研修会や交流会を地域毎に開催した。地域福祉コーディネーターがサロンを取材し、活動紹介のDVD作成や、活動内容紹介のチラシ等を作成し、活動の継続支援を行った。 サロン数 302か所（一関109、花泉44、大東34、千厩46、東山16、室根15、川崎16、藤沢22） ※前年度 302か所
ひとり暮らし高齢者の集い事業	65歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に孤独感の解消、健康と生きがいの高揚、介護予防等を目的に地域毎に開催した。 延べ参加者 442人（花泉47、大東73、千厩183、東山28、室根25、川崎47、藤沢39） ※前年度 延べ参加者 342人
在宅介護者の集い事業	家庭で寝たきり等高齢者の介護にあたっている方を対象に、10月に介護者同士の交流の場を設け、精神的な疲労軽減や介護技術の向上を目的に集いを開催した。 延べ参加者 6人 ※前年度 延べ参加者 24人
車いす貸出し事業	高齢者や障がい者等の生活を援助するため、外出時等に使用する車いすを貸し出した。 延べ貸出台数 164台（一関64、花泉16、大東13、千厩22、東山18、室根1、川崎8、藤沢22） ※前年度 延べ貸出台数 161台
手話通訳者等派遣事業	聴覚障がい者等が意思疎通に支障のある時、要請に応じ、手話通訳者等の派遣を行い、障がい者の社会参加促進および交流活動の充実を図った。 派遣延べ人数 208人、延べ派遣時間 312時間 ※前年度 派遣延べ人数 145人、延べ派遣時間 200時間
子育て支援事業	一関市ファミリーサポートセンターの事業周知をより一層図り、育児の支援を行う協力会員と、育児の支援を受ける依頼会員、双方を兼ねる両方会員を組織化し、育児に関する相互支援活動を行った。また、子育て支援の相談・情報提供等を行った。 会員数 628人（依頼470人、協力131人、両方27人） 利用件数 453件（主な利用：保護者等の病気、その他急用の場合の援助、幼稚園・保育園、学校等休み時の援助、保護者等の外出の場合の援助など） ※前年度 会員数 636人、利用件数 380件
子育てサロン事業	孤立しがちな子育て家庭の育児不安の解消に資するとともに、未就学の子どもをもつ当事者同士がふれあい、仲間づくりを行う活動に対し助成を行い、地域における子育て世代の居場所づくりを行った。 8サロン（一関5、千厩1、東山1、川崎1） ※前年度 7サロン
ボランティアセンター事業	ボランティアニーズと活動のコーディネートを行った。また、学校との連携を深め、福祉が身近なことだと感じてもらえるよう、小学校8校、中学校2校、高校1校へ福祉教育プログラムの企画や講師の調整等を行った。 ・ボランティアセンター運営委員会 2回開催 ・ボランティア保険の加入（活動保険1,454人、行事用保険206件※2月末現在） ・ボランティア協力校の指定 17校（小学8、中学6、高校3） ・ボランティア講座等の開催（①中高生ボランティアスクール 延参加者13人、②高校生保育ボランティア体験 延べ参加者8人、③災害ボランティアセンター設置運営に係る研修訓練 参加者45人 ④一般向けボランティア講座（一関市社会福祉大会講演会を兼ねての参加者 約350人）

敬老会開催事業	敬老事業は市、社協、地区実施団体の三者が主催となり、多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、記念品の贈呈、友愛訪問等を行い、長寿をお祝いしたほか、15地区で集合形式での敬老事業を実施した。 対象者：80歳以上の高齢者 16,017人
緊急連絡カードの整備事業	民生委員の協力により、ひとり暮らし高齢者等の緊急連絡カードを作成し、緊急時の見守り活動を行った。 2,824世帯（一関841、花泉362、大東602、千厩362、東山221、室根106、川崎88、藤沢242）
福祉団体等への助成事業	ボランティア団体等、福祉団体の活動を円滑に推進するため、各団体へ活動助成した。 27団体 3,329,800円（本部5、一関9、花泉8、大東1、千厩1、東山1、室根1、川崎0、藤沢1）
食料支援事業	社協各支部へフードポストを設置し、麺類やレトルト食品などの保存が利く食品を市民の皆様や企業、団体から寄附いただいた。寄附いただいた食品は、生活にお困りの方やひとり親家庭へ配付した。新たに、学生応援便事業を開始し、生活福祉資金（教育支援資金）を借り受け、市外でひとり暮らしをしている学生へ食料を配送した。 寄附いただいた食品：7,860点 配布先：生活困窮世帯（延べ63世帯）、ひとり親世帯（7月、12月、3月 延べ204世帯）、学生応援便（延べ4世帯）

生活支援課

・多様かつ複合的な福祉課題・生活課題の解決のため、総合相談に対応した。

事業名	内容
生活福祉資金貸付事業	他の貸付制度が利用できない、収入の少ない世帯や障害者及び高齢者が属する世帯に対し、生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、生活資金の貸付を行った。 ・福祉資金 16件 2,990,000円（福祉費11件、緊急小口資金5件） ※前年度 9件 1,601,000円 ・教育支援資金 22件 13,006,000円（教育支援費10件、就学支度費12件） ※前年度 12件 6,989,000円 令和5年からコロナ特例貸付の借受人に対するフォローアップ支援をくらしサポートセンターいちのせきと連携して行い、架電及び訪問を毎月実施し、免除、猶予等のフォローアップ支援を行った。
たすけあい金庫貸付事業	失業や疾病等による一時的収入減等により、生活維持が困難になった世帯に対し、応急的な資金として無利子で貸し付けを行う事業（限度額50,000円） 貸付実績なし
日常生活自立支援事業	認知症や知的・精神の障害等のため日常生活を送る上で必要なサービスを自分の判断で適切に利用することが難しい方について、利用手続きの援助や、公共料金の支払いの支援などを行った。併せて、日常生活に必要な生活費等の金銭管理の支援を行った。また、判断能力の低下がみられる方については、ケア会議等で関係機関と連携して成年後見制度の申し立てについて検討を行った。 ・解約9件（内訳：県外への引っ越し2件、金銭管理できる施設への入所3件、家族管理2件、自己管理1件、成年後見制度へ移行1件） ・生活支援員活動件数 775件 ※前年度805件 ・契約者数 59人 ・相談件数 延べ1,867件 ・新規受付人数 58件 ※前年度 契約者数55人、相談件数1,745件、新規受付人数42件

<p>生活困窮者自立相談支援事業（くらしサポートセンターいちのせき）</p>	<p>生活困窮者に対しての経済的自立と生活の安定を目指し、関係機関と連携した自立や就労等の相談支援、家計改善に向けた相談支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 170件（うち、住居確保給付金0件） ・支援件数 2,055件（うち、住居確保給付金0件） <p>※前年度 相談件数 217件、支援件数 2813件</p> <p>令和5年からコロナ特例貸付の借受人に対するフォローアップ支援を行い、訪問や面談で生活再建の必要な利用者の相談に236件対応した。</p>
<p>緊急一時支援事業</p>	<p>ホームレスやDV等の社会的孤立などにより支援が必要な方へ、家財の貸し出しや宿泊施設の提供などの緊急一時支援を行い、自立の援助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時宿泊支援2件 ・家電製品等の貸出2件 ・食糧等支援2件 <p>※前年度 一時宿泊支援5件 家電製品等の貸出0件 食糧等支援3件</p>
<p>成年後見制度利用促進事業（一関地方成年後見支援センター）</p>	<p>相談支援員業務として業務の一部を受託した「一関市成年後見支援センター」は、令和6年10月1日に平泉町を圏域に加え「一関地方成年後見支援センター」へと名称変更し、一関・平泉圏域の権利擁護地域連携ネットワークにおける中核機関と位置付けられた。引き続き支援相談員業務を受託し1名がその業務に当たった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会やフォーラムでの講師及びパネリスト対応（4件） ・ケースカンファレンス、地域ケア会議への出席及び助言等支援（15件） ・社会福祉法人後見の周知及び意向確認（5件） ・権利擁護地域連携ネットワーク会議及び同協議会の開催（3件） ・権利擁護及び成年後見制度に関わる各種研修会等への参加（4件） ・家事関係機関との連絡協議会（家庭裁判所）への参加 ・一次相談窓口向け研修会の開催 <p>等、一関地方における成年後見制度利用促進に関わる業務を行った。</p> <p>※相談件数110件（電話相談53件、窓口相談37件、訪問相談10件、その他10件）の市民と関係者からの相談に対応した。</p>
<p>障害者生活支援事業（一関障害者生活支援プラザ／基幹相談支援センター）</p>	<p>安心して社会生活を営めるよう必要な支援や情報提供、助言を行った。また障がい者（児）に対し障がい福祉サービス利用のための計画相談支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本相談件数 2,463件（ピア328件含む） ・計画相談件数 2,059件 <p>※前年度 3,041件（ピア257件含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画相談件数 1,606件 <p>基幹相談支援センターでは、障がい者（児）やご家族、または関係機関からの中核的な相談窓口として、障がい福祉サービスの利用支援ならびに圏域の相談支援専門員の人材育成などの事業を展開し、当事者及び関係者への支援を行った。また障がいを持つピアカウンセラーも配置し相談対応を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹相談支援センター 1,236件 <p>※前年度 1,704件</p>
<p>心配ごと相談所事業</p>	<p>相談員を委嘱し、日常生活の悩みごと相談や援助に努めた。一関支部は、毎週木曜日に開設し、その他の花泉、大東、千厩、藤沢支部では、毎月第2金曜日に移動相談所を開設した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設日数54日、延べ人数59人、延べ件数149件 <p>家族関係や相続問題、貧困、近隣トラブルに関する相談があり、無料法律相談や、生活困窮者自立支援事業、地域包括支援センターなど、専門相談機関に繋いだ。</p> <p>※前年度 開設日数53日、延べ人数49人、延べ件数154件</p>
<p>生活支援特設相談窓口開設事業</p>	<p>生活に不安を抱えている世帯を対象とし、不安の解消を目的に総合相談窓口を一関市総合福祉センター、千厩農村勤労福祉センターで開設し、延べ件数29件の相談に対応した。</p> <p>開催日：令和6年7月27日、12月22日、令和7年3月22日</p> <p>協力機関：一関市（福祉課生活福祉係、こども家庭課子育て応援係）</p>

- ・高齢者や障がい者が住み慣れた地域で暮らせるよう、相談支援や介護・障がい福祉サービスを行った。

事業名	内容
事業所の拠点化・集約化	<p>質の高いサービス提供と持続可能な事業所運営を確立するため、効率的かつ効果的な事業規模による適正な事業運営と事業所の拠点化・集約化の方向性について検討した。</p> <p>① 経営改善（介護事業）プロジェクトチームを設置し、具体的な経営改善策を検討した。会議は6回開催、検討結果は最終報告書（令和7年3月）としてまとめた。</p> <p>② 介護事業所により異なっている介護利用料の口座振替日の扱いについて、今後の円滑な介護事業の一体的管理体制への移行を踏まえ、口座振替日の統一に向けた調整に取り組んだ。</p> <p>③ 施設の維持改修は、デイサービスセンター大東の大規模改修（雨漏りや厨房の改修等）を実施した。（工期：令和6年9月30日～令和7年1月27日）</p>
介護システムの一体的管理体制の構築	<p>各介護事業所の介護ソフトウェア及び介護管理システムの統一（令和5年度完了）により、その運用において共通したデータ管理が可能となったことから、部門での管理方法の検討を進めた。</p>
地域包括支援センター事業	<p>高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域における総合的なマネジメント機能を担うため、地域包括支援相談（総合相談支援、権利擁護、虐待の早期発見・防止、包括的・継続的ケアマネジメント支援）、介護予防ケアマネジメント、高齢者虐待防止等の研修会を行った。</p> <p>*介護予防プラン 年間延件数（内委託件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 1,696件（843件） ・大東、東山 3,443件（1,285件） 合計 5,139件（2,128件） <p>※前年度 年間延件数（内委託件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 1,614件（776件） ・大東、東山 3,438件（1,242件） 合計 5,052件（2,018件） <p>*地域包括支援相談 年間延件数（※件数の計上方法変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 1,016件 ・大東、東山 2,659件 合計 3,675件 <p>※前年度 年間件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 1,143件 ・大東、東山 1,996件 合計 3,139件
ヘルパーセンター	<p>要介護及び要支援と認定された高齢者等に対し、訪問介護員が家庭を訪問して、日常生活の家事援助や身体介護を提供した。</p> <p>*訪問介護 年間延訪問回数（1日当たり訪問件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 10,461回（29件） ・大東 2,824回（8件） ・東山 4,301回（12件） ・室根 1,574回（4件） ・藤沢 8,180回（22件） 合計 27,340回 <p>※前年度 年間延訪問回数（1日当たり訪問件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 11,250回（31件） ・大東 3,396回（9件） ・東山 4,207回（12件） ・室根 1,953回（5件） ・藤沢 8,470回（23件） 合計 29,276回 <p>*訪問型サービス（総合事業）年間延訪問回数（1日当たり訪問件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 1,844回（5件） ・大東 1,841回（5件） ・東山 978回（3件） ・室根 708回（2件） ・藤沢 1,778回（4件） 合計 7,149回 <p>※前年度 年間延訪問回数（1日当たり訪問件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 1,756回（5件） ・大東 1,924回（5件） ・東山 948回（3件） ・室根 646回（2件） ・藤沢 2,250回（6件） 合計 7,524回

介護支援事業所	<p>障がい者の方に対し、訪問介護員が家庭を訪問し、日常生活の家事援助や身体介護サービスを提供した。</p> <p>年間延訪問回数 ・花泉 4,686 回・大東 992 回・東山 844 回・室根 226 回・藤沢 1,004 回 合計 7,752 回</p> <p>※前年度 年間延訪問回数 ・花泉 4,196 回・大東 984 回・東山 654 回・室根 165 回・藤沢 1,329 回 合計 7,328 回</p>
訪問入浴センター	<p>在宅で入浴が困難な方、デイサービス等の利用が難しく、家庭の風呂を使つての入浴が困難な方のための訪問入浴介護サービスを提供した。</p> <p>*訪問入浴 年間延訪問回数(1日当たりの訪問件数) ・東山 514 回(3 件)・藤沢 344 回(1 件) 合計 858 回</p> <p>※前年度 年間延訪問回数 ・東山 619 回・藤沢 385 回 合計 1,004 回</p> <p>障がい者の方に対し、自立した日常生活又は社会生活を営むため訪問入浴サービスを提供した。(一関市からの補助事業)</p> <p>*障がい者地域生活支援事業 障がい者入浴 年間延訪問回数 50 回(東山のみ)</p> <p>※前年度 年間延訪問回数 51 回(東山のみ)</p>
デイサービスセンター	<p>日帰りの施設介護サービスで、自宅からの送迎・入浴・昼食・余暇活動等のサービスを行い、一日を楽しく過ごせる通所サービスを行った。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染拡大防止のため自粛営業を行った。(自粛営業期間：室根 10 月 18 日～23 日[実質 5 日]、大東 12 月 6 日～9 日[実質 3 日]、東山：1 月 27 日～28 日[2 日])</p> <p>利用定員数 大東 34 人、興田 30 人、東山 29 人、室根 18 人</p> <p>*通所介護 年間延利用回数(1日当たりの利用者数) ・大東 7,099 回(23 人)・興田 6,563 回(21 人)・東山 5,750 回(19 人) ・室根 2,231 回(7 人) 合計 21,643 回</p> <p>※前年度 年間延利用回数(1日当たりの利用者数) ・大東 6,649 回(21 人)・興田 6,828 回(22 人)・東山 6,140 回(19 人) ・室根 2,457 回(9 人) 合計 22,074 回</p> <p>*通所型サービス(総合事業) 年間延利用回数(1日当たりの利用者数) ・大東 1,620 回(5 人)・興田 884 回(2 人)・東山 987 回(3 人) ・室根 495 回(2 人) 合計 3,986 回</p> <p>※前年度 年間延利用回数(1日当たりの利用者数) ・大東 1,307 回(4 人)・興田 1,048 回(3 人)・東山 910 回(3 人) ・室根 657 回(2 人) 合計 3,922 回</p> <p>*生活介護事業(身体障がい者等に対する生活介護事業) 年間延利用回数 合計 1 回(東山のみ)</p> <p>※前年度 年間延利用回数 合計 4 回(東山のみ)</p>
ケアプランセンター	<p>依頼を受けてケアマネジャーが利用者宅を訪問し、ケアプランの作成や介護に関する相談、医療機関や各サービス事業所との連絡調整等を行った。またケアプランセンター東山は、令和 5 年 9 月末で休止(令和 5 年度末廃止)し、その事業区域をケアプランセンター興田に引き継ぎ集約化を図った。</p> <p>年間延利用者件数(月実利用者数) ・花泉 1,514 件(126 人)・大東 1,683 件(139 人)・興田 1,937 件(161 人) 合計 5,134 件</p> <p>※前年度 年間延利用者件数(月実利用者数) ・花泉 1,567 件(130 人)・大東 1,829 件(152 人)・興田 1,456 件(121 人) ・東山 484 件(40 人) R5.4 月から 9 月 合計 5,336 件</p>

千厩ワークプラザ（就労継続支援B型）の運営	<p>通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう就労の場を提供すると共に、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力向上のために必要な訓練等を行った。</p> <p>*主な就労内容 施設清掃業務、アウトドア用薪加工、農福連携事業、ゆうメール便配達、ふのりゴミ取り作業、ワカメのカット選別作業、機械用ウエス加工等</p> <p>*年間延利用者数 合計 3,610 人 ※前年度 年間延利用者数 3,552 人</p>
介護職員初任者研修	<p>一関市内で介護の仕事に就こうとしている方又は従事している方を支援し、介護の担い手を育成することを目的に研修会を開催した。130 時間 23 日間 修了生 6 名 ※前年度 修了生 13 名</p>
苦情等の処理	<p>福祉事業・福祉サービス等各種の事業内容についての評価やサービスに関する苦情等に対応して公正を図るため、関係者以外から第三者委員を委嘱して適正な運営に努めた。</p>
虐待防止等委員会の設置	<p>介護保険事業及び障がい者支援事業所において、虐待防止等委員会部門員会を開催し虐待防止等対応マニュアル及び身体拘束適正化のための対応マニュアルの整備を行った。また、全職員を対象に研修会を開催した。</p> <p>*部門委員会：12月10日開催 訪問介護部門委員会、通所介護部門委員会、居宅介護部門委員会、障がい福祉部門委員会</p> <p>*研修会：10月4日開催 テーマ：虐待防止・身体拘束適正化のための対策 講師：虐待対応専門職委員会</p>
感染症対策委員会の設置	<p>介護保険事業及び障がい者支援事業において、感染症対策委員会部門員会を開催し感染症対策マニュアルの整備を行った。また、全職員を対象に研修会を開催した。</p> <p>*部門委員会：（第1回）6月18日開催、（第2回）12月10日開催 訪問介護部門委員会、通所介護部門委員会、居宅介護部門委員会、障がい福祉部門委員会</p> <p>*研修会：6月18日開催 テーマ：感染対策 2024、講師：県立千厩病院感染管理室</p>

一関支部

事業名	内容
食事サービス事業	<p>65歳以上のひとり暮らしの方、高齢者世帯や障がい者世帯を対象に、月曜日から金曜日までの夕食を届ける食事サービスを実施した。配達業者の協力を得て利用者の安否確認や健康状態等の確認を行った。</p> <p>料金は1食（主食・副食）450円、副食（おかず）は350円。</p> <ul style="list-style-type: none"> 食事サービスの利用者と食数 延べ利用者数 659 人、食数 10,638 食、配食日数 243 日 <p>※前年度 延べ利用者数 765 人、食数 12,180 食、配食日数 243 日）</p>
理髪サービス事業	<p>理容店の協力を得て、寝たきりの高齢者や障がいにより理髪店に行けない方に対し、自宅で訪問理髪を利用する際の利用料の一部を助成した。利用券（1枚 1,000円）は年間8枚を上限に希望者に交付した。理髪店は申請者が選択。</p> <ul style="list-style-type: none"> 理髪サービス利用券交付状況 申請者 60 人、利用枚数 217 枚、交付枚数 480 枚

水難物故者追悼法要	昭和22年のカスリン台風、23年のアイオン台風の襲来により大きな被害を受けた災害を契機に災害のないまちを祈念し、追悼法要を実施した。
福祉学習の支援	地域の小・中学校の福祉学習へ講師を派遣し、高齢者や視覚障害への理解を深め、福祉の心を育てた。 (小学校2校：児童70人 中学校3校：8クラス：231人)

花泉支部

事業名	内容
さわやか大学	高齢者が要介護とならないよう、運動器の機能向上や認知症等介護予防の観点から、孤独感の解消及び、教養講座、日常動作訓練を行い、高齢者の自立を支援した。 会場：老松介護予防センター 延利用 206 団体 1,751 人 ※前年度 199 団体 1,810 人
福祉啓発事業	<p>①花泉地域保健福祉まつりの開催 地域住民の健康づくりや福祉に関する知識の普及と意識の向上を図ることを目的に一関市との共催で開催した。 内容：福祉作文表彰式・発表会、医師講演会、他 開催日：令和7年2月12日 場所：花泉総合福祉センター 来場者：117人</p> <p>②花泉地域保健福祉活動紹介展の開催（花泉地域保健福祉まつりの一環） 地域団体やサロン等の活動紹介や作品展示をする花泉地域保健福祉活動紹介展を開催した。（ふれあいサロンや老松介護予防センター利用者による作品展示では30団体が作った460点の作品を展示） 開催日：令和7年2月8日～20日 場所：花泉総合福祉センター 期間中来場者：延べ384人</p> <p>③福祉作文募集、文集の発行 児童生徒等に家庭や学校、地域での体験を通して感じたことを作文にすることで、福祉の心を育てる目的として実施した。全応募作品を作文集としてまとめ、関係機関、応募者等に配布した。また花泉町福祉作文最優秀作品集を発行し全戸配布した。 応募総数55点 福祉作文集110部発行</p> <p>④福祉作文表彰並びに最優秀作品朗読発表（花泉地域保健福祉まつり席上） 応募のあった福祉作文を審査し、優秀作品の表彰及び最優秀作品の朗読発表を行った。また最優秀賞作品の朗読発表の様子を録音して3月10日から18日にかけて、コミュニティFMあすもで放送した。 表彰：最優秀賞6名 優秀賞7名 朗読発表：最優秀賞6名</p> <p>⑤昔話・紙芝居の読み聞かせの開催 地域での子育てを応援するために開催し、ボランティアグループの訪問による昔話と紙芝居の読み聞かせを花泉地域の保育施設5施設で行い、子育て支援と交流を図った。 保育施設で10回開催 参加者延べ232人 ※前年度255人</p> <p>⑥福祉学習への支援 地域の小学校の福祉学習へ講師を派遣し、聴覚障害への理解を深め、福祉の心を育てた。（小学校1校、児童78人参加）</p> <p>⑦リッピー&まるぷーカラフルコメディショーの開催 花泉地域での子育てを応援するために、親子が一斉に集まれる機会を提供し、仲間づくりの支援と交流を図ることを目的に開催した。 内容：バルーンコメディーパーフォーマンスユニット、リッピー&まるぷーによるわくわくドキドキのショー。未就学児の親子を対象に、家族そろって楽しめるイベント。 開催日：令和7年1月26日 場所：花泉総合福祉センター 来場者：180人</p>

ボランティア講座	地域でのボランティア活動の理解と関心を深め、意識の醸成と啓発を図るために、ボランティア講座（庭木の剪定講座）を開催した。 第1回 6月25日 会場：永井市民センター 参加者：28名 第2回 11月15日 会場：蝦島コミュニティセンター 参加者：23名
花泉総合福祉センターの指定管理	地域の福祉の増進に資するため、住民、団体等の活動の場として、貸館を行うと共に管理を行った。 年間利用者 12,168人 ※前年度 12,105人

大東支部

事業名	内容
ボランティア機器貸出事業	学校行事や自治会活動等の地域事業の中で、機器等を使用し地域交流の機会とした。また、障害疑似体験用具を活用し障がい者理解や福祉教育の一助とした。 貸出：ボッチャ11件 その他63件
食の自立支援事業（委託事業）	在宅の調理が困難な高齢者に対し、栄養バランスのとれた食事の配達と安否確認を行い、高齢者の健康と福祉の増進を図った。 年間配食数930食 月曜日～金曜日 昼食 ※前年度839食
高齢者外出支援事業	町内の65歳以上のひとり暮らし高齢者の外出する機会と目で見ても楽しむ買い物をつくることを目的とし買い物ツアーを実施した。 期日：7月16日・19日 場所：千厩ショッピングモールエスピー 参加者：24人 協力者：14人（民生委員児童委員）
福祉学習助成事業	未来の社会を担う子どもたちの福祉教育やボランティア教育の実践活動として地域社会との連携意識の高揚や福祉に関心や理解を深めることを目的として実践活動の助成を行った。 ① ボランティア学習・福祉教育の推進・・・小学校1校20,000円 ② ふれあいひまわりサービス（友愛ハガキ）の推進・・・利用登録者数86人 ③ 福祉学習・キャップハンディ体験への支援・・・小学校3校児童94人参加
大東福祉まつりの開催	「支え合い 幸せ感じる 地域の暮らし」の基本理念のもと、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを目指し、様々な世代の住民相互の交流、大東地域内の福祉関係団体等が参画し地域の絆を深める機会として開催した。 期日：11月13日 場所：大東コミュニティセンター室蓬ホール 参加者：90名 地域福祉活動発表：あかり食堂 他3団体 ふれあいサロン活動紹介 2サロンの活動取材し、紹介DVDを上演

千厩支部

事業名	内容
理髪サービス事業	理容店の協力を得て、寝たきりの高齢者や障がいにより理髪店に行けない方に対し、自宅で訪問理髪を利用する際の利用料の一部を助成した。利用券(1枚1,000円)は年間8枚を上限に希望者に交付した。理髪店は申請者が選択。 ・理髪サービス利用券交付状況 申請者14人、利用枚数60枚、交付枚数112枚
高齢者等応援事業	① 生活サポート事業（年間2回） ひとり暮らし高齢者・ひとり暮らし障がい者世帯を対象に除草などの支援を行った。 ② 声の広報配布事業（利用者1人） 在宅の視覚障がい者等を対象に、ボランティアの協力により収録した市広報等をダビングし視覚に障がいがある方に配布した。

高齢者等応援事業	<p>③ 千厩こどもキッチン（年間1回） 食を通じた豊かな人間性の形成と、子どもが安心できる地域の居場所づくりを目的に千厩・小梨・磐清水市民センターと共同で開催した。</p> <p>④ 交流サロン型サービス事業（年間1回） 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる生活支援サービスの展開を目指し、理容・美容・中華料理・クリーニングの各組合員を講師に自宅でできるマッサージや料理などの協議及び民生委員・児童委員との情報交換会を岩手県生活衛生営業指導センターと共催で開催した。</p> <p>⑤ 介護予防活動お出かけ応援事業（年間7回） 高齢者の介護予防活動の一環として、買い物機会の提供と介護予防「ひまわりカフェ」に参加し楽しむことで、フレイル予防の一助として、地元ショッピングモールを会場に開催した。</p>
せんまや健康福祉まつり	<p>障がい者・高齢者等の自立と社会参加の促進、市民の参画による支援者の拡大など、健康長寿のまちづくりに資するため、行政、関係団体と協働でふれあいサロン等の活動紹介や作品展示等による「せんまや健康福祉まつり」を開催した。</p> <p>内容：地域団体の活動紹介、ふれあいサロン作品展、医師講演会 他 参加者 250人（前年度 321人）</p>
千厩農村勤労福祉センターの指定管理	<p>勤労者の福祉の増進に資するため、住民、団体等の活動の場として貸館・管理を行った。</p> <p>年間利用者 8,454人 ※前年度 6,838人</p>

東山支部

事業名	内容（目的・対象・見込数・場所等）
地域づくり支援事業	<p>地域住民が安心して豊かな暮らしを営むことができる地域社会をつくるために、「地域づくり講演会」を開催し、自主的な活力ある地域づくりを支援した。</p> <p>参加者 30人 ※前年度 33人</p>
福祉学習の支援	<p>福祉学習・キャップハンディ体験への支援 ・小学校1校児童 22人参加 車いす・白杖体験</p>

室根支部

事業名	内容
見守り活動支援事業（尿取パッド支援）	<p>在宅介護者へ民生委員の協力を得て尿取パッドを配布する際、寝たきり者等の状況把握と安否確認を行った。</p> <p>利用者 39人 延 292人（毎月1回実施）</p>
声の広報配布事業	<p>広報いちのせきをボランティアが朗読、録音したカセットテープを、視覚障がいの方に配布した。 毎月1回録音 利用者 2人</p>
理髪サービス事業	<p>理容店の協力を得て、寝たきりの高齢者や障がいにより理髪店に行けない方に対し、自宅で訪問理髪を利用する際の利用料の一部を助成した。利用券（1枚1,000円）は年間8枚を上限に希望者に交付した。理髪店は申請者が選択。</p> <p>・理髪サービス利用券交付状況 申請者 13人、利用枚数 67枚、交付枚数 104枚</p>
むろね社協ふくしまつり	<p>住みよい地域づくりをめざした市民の交流の場を目的として、各種団体、学校関係の参加協力のもとふれあいサロン活動展や作品展、ふくし標語・川柳コンクールを開催した。</p> <p>会場：室根きらめきパーク 参加者：600人 ※前年度 700人</p>

川崎支部

事業名	内容
障がい者交流事業	地域の障がい者通所サービス事業所の利用者（川崎、千厩、室根）、支援者、家族、地域の子どもたち等を対象に、障がいについての理解を深めるための卓球バレー交流試合や5事業所の授産製品等の紹介も行い、障がい者が地域で安心して社会生活ができるよう相互理解を深めた。 開催日：令和6年6月28日 会場：川崎体育センター 参加者：80人
川崎地域「ふれあいの集い」	地域の高齢者同士が、楽しいふれあいの場に参加し話題を共有しコミュニケーションの活発化を図れるよう、市民センターとコラボし、地元の高齢者スターの演芸発表ステージ、なつかし上映会を開催した。 開催日：令和6年12月6日 会場：川崎市民センター 参加者：150人
川崎地域「よってがいギャラリー」	一関市社会福祉協議会川崎支部事業報告とふれあいサロンの取り組みを地域住民へパネルで紹介する「ふれあいサロン活動展」と一関市老人クラブ連合会川崎支部と協力し「おらが自慢の作品展・思い出の写真展」を展示し、取り組みの見える化を図るとともに、地域住民の交流を深めた。 開催期間：令和6年12月3日～12月26日 会場：川崎市民センター 来場者：350人
ふれあいサロン交流会	ふれあいサロンのお世話人等が集まり、栄養講座、小物工作づくり教室等を通して交流と情報交換の促進を図った。 開催日：令和6年11月27日 会場：川崎市民センター 参加者：12サロン 28人
川崎農村環境改善センターの指定管理	住民の福祉の増進に資するため、住民、団体等の活動の場として貸館・管理を行った。 年間利用者 3,818人 ※前年度 3,302人

藤沢支部

事業名	内容
ライフヘルプサービス事業（拡充）	藤沢地域における高齢者世帯や、ひとり暮らしの高齢者及び障がい者等の日常的な困りごと（介護保険のメニューにない、介護度がついていない等）に対する支援をボランティアの協力を得て行い、住民参加による共に支え合う地域福祉の推進を図った。 会員登録者数：利用会員6人、協力会員21名 年間利用実績：22件 ※前年度15件
金婚を祝う会	結婚50周年を迎えたご夫妻を地域で祝福し、今後とも健康で活躍されることを願い毎年開催しているもので、令和6年度で第28回を数えた。福祉委員や民生児童委員の参加・協力も得て、舞台芸術鑑賞などを楽しみながら、金婚を迎えた喜びを分かち合った。 会場：縄文ホール 参加数：当祝者15組、参加総数65人 ※前年度 参加者数11組、55人
福祉交流まつり	藤沢町産業福祉文化祭の福祉部門として、各祭と連携しながら開催した（展示、福祉販売、赤い羽根共同募金の各コーナー）。日頃より地域福祉に関心を寄せてくださる個人や各種団体と共に互いの連携を確認し合い、喜びを創り、地域福祉への理解と交流を深めた。 会場：藤沢文化センター 参加者：300人 ※前年度300人
福祉学習の支援	福祉学習・キャップハンディ体験への支援 ・小学校2校児童29人参加 ・中学校1校生徒50人参加